



ノイズキャンセリングヘッドホンで快適出張移動

◆ 移動時間に音楽聴きますか？

皆さんは出張の移動の際にどう過ごされていますか？ 特に電車や新幹線、飛行機といった「仕事するにも周りの騒音が気になる」といったことはありませんか？

騒音の中に晒され続けると、とても体力を使うと思っていました。そこで、音楽を聴きながら移動することで、それを軽減できることに気づきました。しかし、周りの騒音から解放されない、つまり、どうしても、大きな騒音の下での移動は避けられないと感じていました。ボリュームを上げて騒音を消した気になるのもよいですが、聴力への影響や、音漏れが気になり、何か良い方法がないかと思っていました。

◆ ノイズキャンセリングで「俺の空間」へ

そこに情報科学の救世主「ノイズキャンセリング」技術に出会いました。ノイズキャンセリング技術は、環境音をその逆音波で消してしまおう、という技術です。マイクで拾った環境音の反転の音波を、ヘッドホンから出力する音に合成することで周囲の音を消します。最近、ノイズキャンセリングヘッドホン（NCH）はたくさんありますが、初期のころの主流はソニーとBOSEでした。1～4万円ほどとかなりハイエンドなヘッドホン価格帯になりますが、はじめて使ったときには「俺の空間」への没入感がすごく気に入り、BOSEのヘッドホンの性能をチェックし続けています。今のお気に入りのヘッドホンはBOSE QUIETCOMFORT 35 WIRELESS HEADPHONES II です。

NCHにはインナーイヤーとオーバーイヤー型がありますが、前者は長期の使用で耳が痛くなるのをどうしても避けられないので、オーバーイヤー型を好んで使っています。後者も汗がこもる、といった感じはありますが、最近のものは通気性が良くなっています。先に紹介したヘッドホンは写真1のように大きく、目立つと思われがちですが、最近

町中で大きなヘッドホンをして歩く欧米スタイルも違和感がなくなりました。このヘッドホンを移動時に使っていると、とにかく周囲からの環境音を抹殺してくれるため、強烈な没入感を得られ「俺の空間」を確保してくれます。

◆ ヘッドホンを選ぶ際の基準はこれです

ヘッドホンを選ぶ際の基準としていくつか紹介します。愛用のBOSEのものはすべてを満たす素晴らしい製品だと思っています。

- (1) 電池の持ちが良く、無線のものが取り回しが良く選んでいます。音質は下がりますが、目的は出張先への移動ですから、有線は邪魔になります。
- (2) ヘッドホン本体がとにかくシンプルな操作性であること、制御はスマホからできるもの、というのはBOSEのヘッドホンには共通して言えると思います。単純なボタンが4つしか付いていません。
- (3) 軽くて壊れにくいこと、というのは必須です。身体的な負荷がなく装着でき、カバンにポンっと入れて持ち歩いても頑丈であることが必須事項です。

ノイズキャンセリングヘッドホンは低価格帯のものではなく、できるだけハイエンドな製品を選ぶべきだと思います。周囲との遮蔽の質が各段に違います。電車に乗る際に装着して、出張先につくまで周りの音は一切聞かずに移動する快適さになればと、これなしではいられなくなりますよ。

(2019年8月30日受付)



写真1
愛用のBOSE QUIETCOMFORT 35 WIRELESS HEADPHONES II
(撮影：山際伸一)